

厚生連だより

平成23年1月1日
第44号

かみつが

発行

上都賀厚生農業協同組合連合会
上都賀総合病院
老人保健施設かみつが

編集

上都賀総合病院年報等編集委員会
〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
TEL 0289-64-2161

第4回病院祭 糖尿病フェア



新春のご挨拶

上都賀厚生農業協同組合連合会
代表理事会長 安生 衛



新年を迎えて

上都賀総合病院
病院長 十川 康弘



平成二十三年の新春を迎え心よりお喜び申し上げます。
本会の上都賀総合病院並びに老人保健施設かみつがの事業運営にあたりまして、特段のご指導ご支援を賜わりまして厚く感謝申し上げます。
我々厚生連は、健康で安心して暮らせる農山村社会を目指して、日ごろより、保健・医療・介護・福祉事業に取り組んでいます。
今日の、少子高齢・人口減少社会とデフレ経済下において、厚生事業を取り巻く環境は、極めて厳しい状況下にありますが、幸い、昨ん政府の緊急経済対策における地域医療再生基金と医療施設耐震化臨時特例交付金を関係各位のご努力のお陰で支援を受けることとなり、平成二十二年九月二十八日の臨時総会において、永年の懸案だった新病院建設の基本構想が承認され、新時代に向けて一歩を踏み出しました。今後は更にJAGグループとの連携強化の上、農協組合員・地域住民に、地域の公的機関病院・地域の主たる老健施設として、積極的に事業展開を致す所存であります。
今後とも皆様方の尚一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。結びに、本年が皆様におかれまして最良の年でありますよう、ご祈念申し上げ新春のご挨拶と致します。

平成二十三年の新春を迎え、ごあいさつ申し上げます。平成二十二年は四月に国の地域がん診療連携拠点病院に指定され、ますます県西医療圏で必要不可欠の基幹病院になりました。また皆様にご不便をおかけしておりました病院の老朽化問題も外来棟の建て替えが正式に組織決定され三月十四日の着工が待ち遠しいばかりです。同時に電子カルテやがん放射線治療装置、CT、MRなど最新の医療機器も整備いたします。新しい病院で地域社会に貢献し続けるための当院の基本方針は極めて明確です。JA会員、鹿沼市民を含めた診療圏十五万人の方々が遭遇する疾患のうち入院を要する急性期医療とQOLを改善するための回復期医療サービスを最高のレベルとクオリティーで提供し続けることです。
地域に根差した新たな病院構築は、同時に街づくりの一部でもあります。病院医療者、地域医療者、住民利用者、行政が一体となって地域の医療を守っていかねければなりません。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

病院祭を体験して

第四回病院祭
実行委員長 杉山 竜一



当上都賀総合病院では、去る十二月十三日(土)に第四回病院祭を開催いたしました。病院祭も四回となりますと、定着した感があります。お陰様をもちまして、天候にも恵まれ約六百名の地域の皆様にご来場頂き、盛会のうち無事執り行うことができました。

体験コーナーや相談コーナー、当院の歴史や活動内容を紹介した展示コーナーなど様々なアトラクションで楽しみながら医療の現場を知って頂きました。

このような体験をきっかけに、ひとりでも多くの子供たちが、医師や看護師を目指すための足がかりになればと思います。またメタボリックシンドロームに関する簡易検査に多数の問い合わせを地域の皆様にいただき、病気の予防の関心の高まりを感じました。

病院祭を通じ地域の皆様に当院を身近に感じていただき、何よりも地域に向かって病院が病気になった時だけ行くものではない事を発信できたことは成果だと思います。

これからも県西地区の地域医療の担い手として職員一体となって励んでいく所存であり、今後ともご指導、心からお願い申し上げます。今回、病院祭実行委員長という貴重な体験をさせて頂いた病院関係者の方々及び、協力頂いた職員の方々にお礼申し上げます。



糖尿病フェア

皆さん、ご存知ですか？ 毎年十一月十四日は「世界糖尿病デー」世界中の国々の名所や建造物などが、糖尿病予防と重症化防止の願いを込めてブルーにライトアップされています。

世界中で糖尿病患者さんやそのご家族、医療従事者、一般市民の全ての人々が参加して糖尿病の啓発活動の輪を広げて行こうと、各地で様々なイベントが開催されています。

当院においても病院祭と共催し、第四回糖尿病フェアを開催することができました。

フットプリント・足の計測、血糖測定、パンフレット・食品の展示、友の会紹介コーナーなどがあり、当日は二百二十二名と非常に多くの皆様の参加をいただきました。中には血糖値が高めと言われ気になっていた方、自分に合う靴が無くて困っている方、ご家族が糖尿病と診断され悩んでおられた方など、「今日思い切って、来てみて良かった。」という言葉をいただきました。

これからも糖尿病支援チーム一同、地域の皆様の糖尿病予防と治療のお役に立てるよう取り組んで行きたいと思っております。



AED操作体験コーナー

AEDの存在を知ってもらうとともに、AEDの使用方法、緊急通報の仕方、胸骨圧迫(心臓マッサージ)の方法を体験してもらおうことを目的に実施させていただきました。

体験参加人数は二十五名程度でした。実際に心肺蘇生法を実施したことのある方など、体験や説明を受けたことがある方が、手技の確認や取扱い方法についての振り返りのために立ち寄り、例年よりもAEDや心肺蘇生法について興味をもち、手技を維持するために高い意識で参加してくださる方が多く驚きました。心疾患が原因でお亡くなりになる方は、年々増加しています。尊い命を救うためには、早めの病院受診と、もしもの時には病院に来る前から胸骨圧迫を行い、AEDによる電気ショックを行い救命率を上げていきたいと思います！！



体験コーナー

病院祭の体験コーナーの一つとして、メタボリックシンドロームに関する簡易検査(メタボ検査)・身体測定・血圧測定・動脈硬化検査(頸動脈エコー・血圧脈波検査)・腹囲エコー(脂肪肝のみ)及び脳元気度チェックを行いました。

メタボ検査の一つ、血圧脈波検査を行う際、血管の硬さはどの程度なのかイメージしてもらうために、血管模型を利用しました。検査結果をもとに、この数値がどの程度の血管の硬さなのか、実際に触れることで自分の血管の硬さをイメージしてもらうことができました。メタボ検査は、普段なかなか自分の健康を客観的にチェックする機会が少ない地域の皆さんにとっても良い機会になったと感じました。

脳元気度チェックは、今回初の試みでしたが、メタボ検査と同様に行ったこともあり、多くの地域の皆さんに体験して頂きました。脳がどの程度元気なのか数値で結果が表示されます。実際に検査を行った方から、画面にタッチする検査であるため半数以上の被験者の方が操作は、やさしかったという回答があり、被験者全員がまたこの検査を受けたいとの回答が得られました。物忘れや認知症のことなどの脳に関することは、心配に思う反面、どうしたらよいのか分からない部分でもあると思うので、今回良い体験になったのではと感じました。

この体験コーナーで行った検査は、大盛況に終えたと思いま

す。その分、地域の皆さんが、自分の体の健康に興味を示していると感じました。この体験をきっかけに、自動車にも定期的な車検があるように、自分の体にも健診をする習慣を身に付けてほしいと思います。



高齢者疑似体験コーナー

高齢者疑似体験用具「未来ちゃん」を使用し、高齢者の身体的な変化を体験していただきました。

手足の重りやヘッドホン等を装着し、歩行や日常生活の動作を行っていただきました。小学生から大人の方まで参加し、多くの方から「思ったよりも動きにくい」との感想が聞かれました。加齢による身体的な変化を体験した中で、高齢者を理解する一助になっていただければと感じました。



ごどもやくざいし体験



薬剤部では「ごどもやくざいし体験」を開催しました。「おくすりができるまで」をパネルに展示し、薬剤師がどのようにお薬を調剤して患者さんにお渡しするのかを知っていただき、実際にお薬を揃える調剤体験をしていただきました。本物のお薬の替わりにマールチョコやラムネ菓子を用意してこれを錠剤に見たて、お薬を入れる袋（薬袋）に自分の名前とお薬の用法・用量を書いてもらい、処方せんに書かれた錠剤（お菓子）を取り揃えていただきました。また、粉薬を計って分包機で一回分ずつに分けて体験もしていただきました。自分の名前入りのお薬が出来る上がる様子に、お子さん達は真剣な眼差しを注いでいました。

今回は主に小学生を対象に開催しましたが、実際には3歳ぐらいのちびっこから大人まで幅広い年齢の方に楽しんでいただきました。今回のイベントによって皆様にも少しでも薬剤師の仕事に興味をもっていただけたならば幸いです。

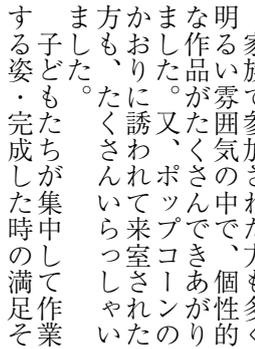
何でも相談コーナー



メディカルサポートセンターでは、「何でも相談コーナー」を企画・運営しました。看護師・事務員・ソーシャルワーカーなど、他職種で構成される当センターでは、日頃の業務においても患者さん・ご家族の相談窓口となっておりますが、「何でも相談コーナー」では、そこに医事・薬事・育児・栄養・がん相談の各専門職種の協力を得て、医療・保健・福祉に関わる様々な相談に総合的に応じられるようにしました。

結果としては、健康相談七件、介護・福祉相談二件、栄養相談一件で、合計十件の相談がありました。相談内容については、深刻な健康相談・生活相談はもちろん、病院祭という普段の病院より和やかな雰囲気もあつてか、「改めては相談しにくいちよつとしたこと」を相談される方も多く、相談が終わる頃には幾分表情が明るくなった方も見られました。当センターとしても、そのような些細なことを気軽に相談できる場の大切さを改めて感じるとともに、今後も機会があれば企画していきたいと思っております。

キッズ感染セミナー



感染対策の基本的な手技である手洗いについて、患者またはその家族、更には集団生活を送る幼児、学童、学生に対して正しい手洗いの方法を習得してもらい、その重要性を理解してもらおうことを目的に実施させていただきました。

体験参加人数は五十五名（内四十名が子供）。手洗いの後に、特殊な機械を使用し洗い残しを自分の目で確認、それを手形の塗り絵に色付けしてもらいました。

家族からは「どうやったら綺麗に洗えますか?」との言葉が聞かれ、具体的な手洗いの方法と正しい洗い易い場所がわかり、正しい手洗い方法を意識してもらおう機会になったと感じました。

これからの季節、インフルエンザが流行しやすいため、手洗い、うがいを十分にしましょう!

キッズコーナー

まつぼっくりのクリスマスツリー作り、ボードプレーン作り、ポップコーン提供を行いました。

家族で参加された方も多く、明るい雰囲気の中で、個性的な作品がたくさんできあがりました。又、ポップコーンのかおりに誘われて来室された方も、たくさんいらっしやいました。

子どもたちが集中して作業する姿・完成した時の満足そう

— 基本理念 —

— 地域社会への貢献 —

私たちは、地域住民の総合病院として保健・医療・福祉活動を介して、地域社会の発展に貢献します。

— 基本方針 —

- 一、患者さんの立場を尊重し、倫理・精神面へ配慮します。
- 一、安全な医療を確保し、患者さんに信頼される医療を行います。
- 一、常に、医療の質の向上に努めます。
- 一、患者さんと、より良いパートナーシップを築きます。
- 一、地域の基幹病院として、地域社会や医療機関と連携し、住民の健康増進に努めます。

— 患者さんの権利と責務 —

- 一、安全で適切な医療を公平に受ける権利
- 一、個人の権利が尊重され、プライバシーを保たれる権利
- 一、病氣・検査・治療・見直しなどについて、説明を受ける権利
- 一、治療法の選択を尊重される権利
- 一、私たちと病氣を一緒に治すことに協力していただくこと
- 一、患者さんの療養環境を守るため、病院の諸規則や社会的ルールを守っていただくこと



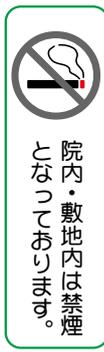
食品販売

栃木県では毎月十八日を地産地消の日としています。当院でも毎月十八日を地産地消の日とし、地元鹿沼産の食材を中心に食事を提供しています。

病院祭では鹿沼特産のらを使用し、色彩よくヘルシーな塩焼きそばを提供しました。



うな表情がとても印象的でした。



皆様には大変ご迷惑をおかけ致しますがご協力ご理解をよろしくお願い致します。

- ・ 正面駐車場 ↓ 使用不可
- ・ 第一駐車場 ↓ 使用可能
- ・ 万町駐車場 ↓ 使用可能

新病院建設が始まります

上都賀総合病院の新病院建設を
平成二十三年三月より
着工します。

工事期間中につきましては、患者用駐車場の使用が次のとおり変更になります。

職場紹介

第一病棟五階 看護課

私達の病棟は、内科病棟で主に循環器疾患（心臓カテテル検査目的等も）を中心に、急性期から慢性期、ターミナル期が混在している病棟です。患者様の平均年齢も毎年高くなり看護援助も多くなっています。

スタッフは、看護師二十九名・看護補助三名・事務員一名の総勢三十三名で構成されています。その中でも、やさしく・頼りになる男性職員が三名います。

病棟の一日は、合言葉から始まり日頃気になることや注意を呼びかけること等を目標にしてひとり一人が意識して行動が取れるよう皆で唱和し挨拶をしながら始まります。

例）「アラームがなったらまず見よう！異常かどうか判断し、ベッドサイドで再確認」「背抜き・尻抜き・かかと抜きよし！」「褥瘡予防に努めようよし！」等

日頃忙しい病棟ですが、看護部の理念に基づき思いやりとあたたかさの看護を目指し、患者様やご家族とのパートナーシップを大切に、スタッフ一同頑張っています。



一般外来診療表

Table with 3 columns: 診療科目, 受付時間, 備考. Lists various departments like 内科, 精神神経科, 小児科, etc.

専門外来診療表

Table with 4 columns: 診療内容, 担当診療科, 曜日, 受付時間. Lists specialized services like リウマチ・膠原病外来, 糖尿病外来, etc.

医師・看護師(保健師・助産師・准看護師)奨学生募集

～ あなたの「学びたい」をサポートします ～

当院には、医学生・看護学生のみさんの勉学を支えるための奨学金制度があります。奨学金の返済については、卒後当院にて医師・看護師(貸与対象職種)として貸与期間に応じた期間を勤務していただいた場合、免除となります。

〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
かみつが厚生連 上都賀総合病院
担当：総務課(2502)
TEL0289-64-2161 FAX0289-64-2468
E-mail : soumu@kamituga-hp.or.jp URL : http://www.kamituga-hp.or.jp

お願い

～月に一度は保険証を～

上都賀総合病院では、月に一度の健康保険証及びその他の公費受給者証等のご提示・確認をさせていただき、不必要な経済的負担のないよう努めているところであります。

当院メディカルサポートセンターでは医療ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)が医療・福祉・介護に関するご相談をお受けしています。相談料はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

す同立す心今り域中し築どよ施ら持のてのの組
努つ今を。年医でま計長よ設らっ健有当お組
力紙年注は選再當。す画年抱と現と康事院のは合
した面もく、択再當。が。えスタと医状いをの慶
いた作組最新と生院廠今念てッや老はまる際には地
いり合員初し言の再し年願だっす。過護化し要。幹
と思広のの器えまのた済スタた院願。たし。地
っ報の年器とにのたの情タ病。た。な。地
つ委員とな新しよ。のたの情タ病。た。な。地
て員に新しよ。のたの情タ病。た。な。地
ま一役まいぎ地のト新

編集後記

*診療上の都合により変更になる場合がありますので、必ずご確認の上ご来院下さい。